

2012. 10

vol. 101

改訂版 vol. 31

女性委員会だより

らくだ



社団法人 岐阜県建築士会 〒500-8076 岐阜市司町1番地岐
総合庁舎3階 〈電話〉(058) 266-5786 〈FAX〉(058) 266-6867



はじめに

■ 食欲の秋

女性副委員長 高野栄子

暑い暑い夏も終わり、やっと朝晩涼しさを感じられるようになってきました。

エアコンを使わなくてもいい日が増えてきました。

涼しくなるとおいしい物が食べたくなる季節です。

我が家では、自家製のつやつやの秋なすが毎日食卓に上ります。煮てよし、揚げてよしの秋なすですが、私は某ポン酢メーカーのテレビコマーシャルをみてから、なすを薄く切って多めの油で焼く、焼きなすが大好きです。簡単に火が通り、ポン酢をかけるだけでもものすごくおいしいです。

生のさんま、なしやぶどう、栗などおいしい物は沢山ありますが、最近食べていない“松茸”を今年はぜひ食べたいと思っています。国産は無理でも、せめて輸入物を食べようと思います。昔、八百津町にいる友人からもらった天然松茸の味が今でも忘れられないこの季節です。

秋は、建築士会連合会の全国大会や、女性委員会の高山研修など遠出する機会があります。今からお食事が楽しみです。



今回の記事

◇はじめに

◇今回の記事

◇今後の予定・お知らせ

◇講習会「東日本大震災における地震保険の話」

平成24年6月8日(金)

◇建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会

平成24年度前期定期例会議 福井会議

平成24年6月23日(土)

◇講習会「家相を学ぶ」

平成24年8月10日(金)

◇建築士の日フェスティバル

平成24年9月1日(土)～2日(日)

◇第32回 建築文化講演会

平成24年9月8日(土)

◇編集後記



今後の予定・お知らせ

◆ 第55回建築士全国大会 いばらき大会

平成24年10月19日(金)

◆ 見学研修会

「椅子の彫刻家」フィン・ユールを訪ねて

平成24年11月18日(日)





女性委員会主催 講習会

東日本大震災における地震保険の話

日 時:平成24年6月8日(金) 13:30~14:45
 会 場:あいおいニッセイ同和損保岐阜支店6階会議室
 参加者:9名

■ 「東日本大震災における地震保険の話」

講習会に参加して

報告者:松村久美子

あいおいニッセイ同和損保の査定員の方から地震保険の概要、東日本大震災の地震保険査定概要、支払いの現状などのお話を聞きました。

東日本大震災に係る地震保険の支払金額の見込みは、2兆7000億円。阪神・淡路大震災の支払保険金は783億円。この金額を見ても3.11の甚大な被害を改めて認識させられます。

2兆円を超える保険金を支払って損保会社は大丈夫なのか？という疑問には地震再保険という制度があり再保険によって政府が保険責任を分担するという制度で守られていました。

また今回の震災をうけ建物損害の認定基準が検討され、半損と一部損の間に20%以上30%未満の一部半損という区分が設けられる見直しもこれからされるそうです。

お話を聞いた査定員の方は震災2週間後に仙台に入り、建物の損害状況を調査されました。

木造住宅を例にとりチェックシートを実際に見せて頂きながらどのように査定するかを伺いました。

東北気質というのか被害を受けているのに遠慮がちであったこと、優しく接してもらおうと査定が甘くなるという裏話もして下さいました。

耐震のこと、建物を建てた後のこと、地震とどのように付き合っていくのかを考える機会になりました。



(最初に女性委員長挨拶)



(講習会の様子)



(講習会の様子)





建築士会東海北陸ブロック会

女性建築士連絡協議会

平成24年度前期定例会議

福井会議

日時:平成24年6月23日(土)

開催会場:

会議 AOSSA(アオッサ)6階 福井市地域交流
プラザ研修室605

(福井市手寄1丁目4-1

電話:0776-20-1536)

昼食会 開花亭 sou-an

(福井市中央3丁目9-21

電話0776-20-1070)

参加者:2名

スケジュール

11:30~12:30 昼食会

12:30~14:00 会場移動 受付

お家ストラップ作り体験

14:00~16:30 会議

■「昼食会・ストラップ作り体験に参加して」

報告者: 高野栄子

6月23日に東海北陸ブロック会女性建築士協議会の福井会議に参加しました。

当日は午後からの会議でしたが、お昼前には福井に着き、会議に参加される各県の皆様と一緒に昼食会に参加しました。

その後宇佐美さんと私は、建築資材を利用して作るストラップ作りを体験してきました。

昨年度から前期会議は会議のみに限定され、役員への参加になったのですが、やはり女性ですので、せっかく集まるのでしたら、おいしいお食事も食べたいですし、お楽しみもあった方がいいということで、開催県の福井の皆さんが企画していただいたものでした。

昼食会場は福井駅から徒歩15分程度にある、隈研吾の設計による割烹レストランで会席風のランチをいただきました。クサマキの和服模様の格子と全面ガラス張りの外観に自然素材を生かしたモダンなデザインの建物ですてきでした。料理は味も盛りつけも全てに上品であつという間のひとときでした。

その後、会議の会場に移動し、お家の形をしたお菓子のようなストラップ作りを体験しました。クッキーのようなベースにシリコンを生クリームの様にデコレーションして、リボンやスパンコールなどを飾ります。すごく簡単で時間もかからないので思った以上に楽しかったです。

はじめて参加した会議でしたが、開催県の福井県さんの気持ちがいい、いい経験をさせていただきました。



(昼食会場の外観)



(昼食会の様子)



(できあがったストラップ作品)

■ 東海北陸ブロック会 女建築士性協議会
前期福井会議に参加して

報告者: 宇佐美 泉

デコスイーツ作りを終え、午後 2 時より福井市地域交流プラザ(AOSSA) 会議室において、協議会が始まりました。福井県建築士会会長の奥井稠朗氏よりご挨拶を戴き、和やかに始まりました。次に運営委員長の挨拶があり、前年度までの河内委員長から富山県の山中路代委員長へ。続いて出席者の紹介があり、今年は何の県も委員改選の年の様ではじめてお会いする方ばかりでした。

1. 報告事項

前年度の活動報告(パワーポイントを使って)及び今年度活動計画案

- 連合会女性委員会の報告
- 青年協議会定例会議出席の報告

2. 審議事項

平成23年度後期定例(鈴鹿)会議議事録承認の件
平成23年度事業報告並び収支決算承認の件
平成24年度女性協議会役員の内
上記の報告事項と審議事項は承認されました。又、協議事項として色々と決定しましたので、報告いたします。

3. 今年度分科会について

後期会議(愛知)において、愛知県が担当されますが内容は未定だそうです

愛知県は、後期会議の開催県でもあり、分科会(発表)担当県でもあります

4. 来年度以降の定例会議について

平成25年度分科会担当(発表)県について、福井県が担当することが確認され、了承されました。それ以降については各県で検討する。岐阜県は、平成28年度後期会議(福井県)にあたっています。(要検討)

又、岐阜県は平成26年度前期会議の開催県に当たっています

5. 次回開催地案内

平成24年度後期会議は、愛知県で行われます。今のところ(案)ですが、日程等をお知らせしますので、今から予定しておいて下さい。隣県ですので、日帰りで多くの方に参加していただきたいと思います。

開催日: 平成25年2月16日(土)・17日(日)

開催地: 1日目 犬山市内 2日目 明治村

日 程: 1日目

12:00~ 受付開始(犬山ホテル)

12:30~ 開会式

13:10~ 女性会議

15:00~ 分科会

18:30~ 懇親会

2日目

10:00~ 明治村建築ツアー

12:30~ 閉会式(式後は各自見学 or 解散)

6. 運営委員長より

最後に、運営委員長さんよりテーマ説明がありました
「地域と共生する女性建築士」

これから2年間は上記をテーマに活動していきたい。具体的には

- ・各地域の地場産材「地域の素材・技術」などの情報収集や紹介

- ・地場産を建築材として活用している事例見学やミニ講習会

- ・各地域に根ざしている女性建築士が携わった建築見学やまちなみ見学

ということです。これは、前期・後期会議の時に開催県が行い、そのやり方は開催県に任せる。

以上、前期福井会議が無事終了しました。終了時間は、午後4時30分でした。



女性委員会主催 講習会

「家相を学ぶ」

日 時:平成24年8月10日(金)

13:30~14:40

会 場:岐阜総合庁舎 3階南2会議室

参加者:9名

講師:森崎麻充氏

■ 「家相を学ぶ」に参加して

報告者:下川 滝美

岐阜総合庁舎も平成25年3月31日で閉鎖されるということで、周囲が引っ越しなど慌ただしい中、この建物での講習会もこれが最後なのかと感慨深く思いました。

以前から家相については興味があり私流ではありませんが暦を見たり方角を見たりすることが好きで今日の研修はとても楽しみにしていました。

四神相応の地。東西南北の意味や青白赤黒の色の意味など、それが今でも相撲の土俵のフサに使われていることなど興味深く聞きました。

家相の起源は古いのですが現在に続くものとしては家相書と木割書が基になっていること。

近代以降は迷信視されているのだがそれでも今日家相を気にする人が多いのはどうしてだろうか？

など家相の持つ魅力を歴史的事件や建物から探ってみたり、中山道にある旧家の家相図の鑑定を紐解いてみたりと楽しく興味深くとても勉強になりました。

家相には色々決まりはあるのだが、旧家の鑑定の結果を知ると最終的には、「鑑定者の裁量」

科学的根拠ありの家相を信じつつ鑑定者の裁量で難を逃れていけたらいいなと思いました。

森崎さん ありがとうございます。



建築士の日フェスティバル

日 時:平成24年9月1日(土)~2日(日)

開催会場:イオン各務原店 1階 サニーコート

(各務原市那加萱場町3丁目8)

電話:058-375-3700)

参加者:10名

■ 建築士の日フェスティバルに携わって

報告者:森崎麻充

私は、運営委員として、建築士の日フェスティバルに携わりました。

実行委員会は、3回開催されましたが、いずれも終始自由に意見が交換できる雰囲気であったため、アイデアが次々と提案されては練り上げられ、大変内容の濃いものでした。

また、回を重ねるにつれ、フェスティバルを成功させようという委員同士の思いが、強くなって行きました。

開催初日は、早朝から運営委員等を中心に、関係者がイオンモール各務原に集合し、会場の設営をしました。開店前の店舗は冷房が効かず、汗だくでした。

しかし、事前の詳細な計画が功を奏し、余裕で開場時間を迎え、出来上がったブースを見た時は、みんなで作り上げたという達成感を得ました。

女性委員会の担当は、風船やビラの配布でした。最初は、求められて渡していましたが、時間が経過し、慣れてくると、自ら出向いて手渡すという、積極さを発揮しました。

ブースで熱心に質問する人や、風船を手にとる子供、また、レゴブロックで家を作る子供たちを見ながら、フェスティバルは、建築士や建築士会を一般の方に発信する役割を果たしていると思いました。



(子供たちがレゴブロックでお家を作っています。)



(風船を小さいお子さん差し上げます。
風船には「岐阜県建築士会」の文字が入っています。)



(女性委員会のパネルの前で集合写真①)

■「建築士の日に参加して」

報告者:長尾則子

建築士の日に参加させていただいて感じたことを報告させていただきます。

今年は開催場所を「イオン各務原店」内の広場で行われました。

夏休み最後の土日ともあって二日間とも大変な人出の中、実行委員の方を中心に皆さんのご協力で無事に最後まで行うことができました。

広場を行き交う人々は、若い方から年配の方まで幅広く特に家族連れが多いようにみられました。

青年部会のレゴブロックでお家を作るコーナーでは、かわいらしい子供たちが親御さんと一緒になって、楽しんでブロックの家をつくっていましたし、作品展や建築資材のパネルに足を止めて目を通してくださる方も多く見受けられました。

女性委員会の日ごろの活動をパネルやチラシにしてPRいたしました。

また女性委員はおそろいのハッピー姿で交代し、色とりどりの風船を大きく膨らませて、通りを行きかう子供たちに手渡しして喜んでいただきました。

この活動をとおして、建築士会という存在を地域社会に広くPRでき大変有意義であったと思います。

そして私自身のことで恐縮ですが、普段はなかなか活動に協力できず申し訳なく思っていたのですが、この二日間短時間ではありますが、他の委員の方々と交流しながら、一緒に楽しくすごさせていただきました。ありがとうございました。



(女性委員会のパネルの前で集合写真②)



(女性委員会のパネルの前で集合写真③)



(会場の様子、青年委員はグリーンのパっぴ、女性委員はオレンジのパっぴ)



第32回 建築文化講演会

開催日時:平成24年9月8日(土) 14:00~17:00

開催場所:岐阜県図書館 1階多目的ホール

講師 :建築家 谷尻誠 氏

演題 :「未完の建築」

■ 建築文化講演会を聞いて

報告者:長瀬八州余

今回も例年通り女性委員会は受付のお手伝いをしました。

ただ今年是一般の人は500円の入場料が必要で、学生は学生証の提示で無料となり、受付が少し煩雑になりました。

入場者数、一般の人140名余で学生は30名ほどでした。会場の関係で入場が13時30分ということになりましたが、13時頃から並びはじめて、講師の人気をうかがい知ることができました。

講演会の会場も県立図書館というのは私は初めてでした。節電の影響でしょうか、受付ホールはクーラーも入らず、照明もつかずで、最初は蒸し暑く薄暗いなかでの作業でしたが、途中からクーラーも入り、照明もつきました。

講師は谷尻誠氏で演題は「未完の建築」でした。

最初にご自分の現在までの軌跡を話されて、その中で建築に対する考え方を説明されて、気になった言葉は「いまいちな物を、いまいちのままやることを良しとしない」ということです。お話をうかがっていて、本当にいろいろと考えている人だと思いました。

最初にコンセプトを考えると、名前に縛られないとか、スタッフと共に楽しむとか、いろいろな事を話されました。

ご自分のできあがった作品について話すのではなく、コンペに出した作品について話をなさいました。「いまいちな物を、いまいちのままやることを良しとしない」という人なのでコンペでもついつい勝手に足してしまうのだそうです。問題解決よりも問題提議になってしまい、それで没になるのですが、プレゼンのツールになり、それが縁で仕事が回ってくるので、コンペに負けても仕事では勝つということだそうです。

質疑も多くの質問が出て、その中で日本人として伝統との関わり方という質問について、長く続いた物・型を残すことが伝統ではなく、イノベーションしているから伝統

になっていると思う。イノベーションし続けることが伝統になるのだと思っていますと話されました。

3時間の講演時間で休憩もなく話し続けて、本当にエネルギーな人だと思いました。

楽しい講演で、別の側面からの物の見方ができて、有意義な時間でした。ありがとうございました。



(受付にて)



(講演の様子)



編集後記

31号をお届けします。

平成24年度の前期の報告となっています。

今年度より全国女性建築士連絡協議会が隔年開始となり今年度開催されません。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。また、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

(社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

(HPアドレスが4月より新しくなりました)

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願ひ致します

